



くまの子倶楽部三室保育園本館
令和6年8月1日発行

待ちに待った梅雨も明け子どもたちもですが大人たちも嬉しい夏がやってきましたね。

さて今回は、自然で遊ぶ子どもたちの成長について話そうかと思います。世の中では今、自然体験を重視する保育が注目されています。個々の保育園で出来ることを・・・と考え、まずはプランターから・・・など、園庭がほとんどない保育園も増えているため雑草地をプランターで作る活動をしたりと試行錯誤しているようです。保育士の私たちの基本である【保育所保育指針】に自然との関わり・生命の尊重が記されており、国としても乳幼児期の自然と触れ、感動する体験を重視しているからです。さて、緑区にあるくまの子は地域の方の協力もあり自然に恵まれており、日頃から子どもたちが自然に触れることができる環境が整っています。ここで育ち乳幼児期に自然の中で様々な経験をします。子どもたちは、やがて、物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、それらを通して友だちと関わりを楽しむ中で周りが伝えてもなかなか理解できない出来事ことやしてはいけないことが自然とわかったり、生命の不思議さや尊さに気づき、命あるものとしていたわり、様々なものに対しても大切にすることを覚えるようになっていきます。また、国立青少年教育振興機構では、自然体験を通して得られる自尊心、共生感、意欲・関心、規範意識、人間関係能などを「体験の力」として調査すると、幼少期から中学生期までの体験が多い高校生ほど思いやり、やる気、人間関係能力等の資質・能力が高い、という結果を得ています。さらに小学校低学年までは友だちや動植物とのかわりの体験が、小学校高学年から中学生までは地域活動、家族行事、家事手伝い、自然体験等の体験が「体験の力」が高い、という結果を得ています。さらに「豊かな自然体験」はことばを豊かにし、想像力を高めていくそうです。様々な教育プログラムがある中、自然と日々触れあうだけでこれだけの力が養われるのであればこれほど良いものはないのではないのでしょうか。森に咲いているヒマワリが気持ちよさそうに風に揺られていますね。ヒマワリはポジティブな花言葉がたくさんあるのですが、子どもたちもヒマワリのように常にポジティブなことを考え、前を常に向き、ぐんぐんと育ってほしいと思います。子どもたちにとってはお楽しみの行事が多いこの季節、セミの大合唱に負けにくいくらいの溢れるパワーで、みんなで暑い夏を元気に楽しく過ごしたいですね。



- 5日(月) 食育活動(乳児)
- 6日(火) 食育活動(幼児)
- 9日(金) 避難訓練(火災)
- 26日(月)～28日(水) 夏祭り週間
- 26日(月)～30日(金) 発育測定
- 30日(金) 8月生まれの誕生会

今月のうた

☆乳児☆
♪うみ♪おばけなんてないさ
♪トマト♪アイアイ

☆幼児☆
♪おばけなんてないさ♪アイスクリームの歌
♪人間ていいな♪じゃくじゃくあまのじゃく

☆English☆
♪Itsy bitsy spider
♪London bridge falling down

夏祭りを開催します！

8月26日(月)～28日(水)に夏祭りを行う予定です。様々なコーナーが用意されており、楽しんでもらえるようになっています。昼食とおやつにも給食部の方々が考えてくれたお祭りメニューが出ます。各クラス、当日までにお土産を入れる袋をお持ちください。

また、服装は普段と同様、汚れても良くお子さんが着脱しやすいものでお願いいたします。

園での服装について

基本的に動きやすく、体温調節のしやすい通気性、吸水性のある服装でお願いしています。また、どろんこ遊びや絵の具を使ったダイナミックな遊びも取り入れているため汚れを気にせず遊ぶことができ、長いひもや飾りのついていないもの、フードのついていない洋服が望ましいです。また、判断はご家庭にお願いしているところですが、園庭、森や林に行く際は虫やケガの対策として長ズボンをお願いしています。ご協力をお願いいたします。